

# PIXYDA

## PDR750SV

### 360EYE ドライブレコーダー G

### 取扱説明書

### USER MANUAL



# クイックガイド

必ず 6 ページの「本製品を使用する前に」をよくお読みの上ご使用ください。

## ■ 各部の名称



番号	項目	説明
①	タッチパネルスクリーン	カメラが映した映像と操作インターフェースを映します。タッチパネルで操作できます。
②	カメラ	動画、静止画を記録します。
③	電源ボタン	電源のオン / オフや画面の表示 / 非表示を行ないます。また、ボタン内の LED ランプで録画の状態を示します。
④	microSD カードスロット	動画、静止画を保存するための microSD カードを挿入します。
⑤	リアカメラ入力端子	リアカメラなどのオプションを接続します。
⑥	電源端子	電源ケーブルを接続します。
⑦	リセットボタン	本製品をリセットします。

## ■ 電源のオン / オフ

### 電源をオンにする

電源ケーブルを本製品の電源端子および車両のシガーソケットに接続し、エンジンを始動するかアクセサリ電源をオンにすると、本製品の電源が自動的にオンになります。

### 電源をオフにする

エンジンを停止するかアクセサリ電源をオフにすると表示される電源オフメニューで、「電源オフ」にタッチするか何もせずに 3 秒経過すると、本製品の電源がオフになります。

**注意** 電源ボタンによる操作は、「5. 電源のオン / オフ」を参照してください。

## ■ 録画の開始

本製品の電源をオンにしてシステムが起動すると、自動的に録画が開始されます。

録画モード	動作説明	画面左上の表示
通常の録画モード	設定した時間(1分/2分/5分)ごとにファイルを分割して、映像が録画されます。	"REC ●"が点滅します。
衝撃検知モード	車両への衝撃が検知されると、検知する10秒前を起点とする22秒間の映像が、ロックファイル(自動で上書きされないファイル)で録画されます。 🔒アイコンにタッチして、手動でロックファイルにすることもできます。	"SOS ●"が約12秒間点灯します。

自動的な録画の開始をオフにするときは、「11. 各種設定」を参照してください。

## ■ タッチパネルスクリーンの表示

本製品は画面にタッチすることで操作可能なタッチパネルスクリーンを備えています。本製品の操作は、画面にタッチして表示されるメニューリストから行います。

## ■ 表示モードの切り替え

画面表示は以下のモードに切り替えることができます。

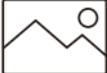
モード	動作説明
フロントワイド	カメラを車外に向けて広角に撮影します。
360° EYE	カメラを下向きにして全方位を円形に撮影します。
フロント&カールーム	全方位の撮影範囲を、前後に2分割して表示します。
マルチウィンドウ	全方位の撮影範囲を、前後左右に4分割して表示します。

メニューリストから 📷アイコンにタッチして、表示モードを選択します。フロントワイド以外のモードでは、タッチパネルをスワイプして画面表示を回転させながら、視認角度を調整することができます。

## ■ 記録ファイルの再生

記録したファイルを画面上で確認できます。

1. メニューリストから 📄アイコンにタッチします。
2. ファイル区分を選択し、再生したいファイルにタッチします。

		
フロントカメラ(本体)で撮影した動画	リアカメラ(オプション)で撮影した動画	フロントカメラ(本体)で撮影した静止画

# 目次

クイックガイド	2
目次	4
1. 同梱品の確認	5
2. 本製品を使用する前に	6
3. microSD カードの取扱	9
4. 本製品の設置	10
5. 電源のオン/オフ	12
6. タッチパネルスクリーン	13
7. 映像の表示モード	14
8. 映像の記録	16
9. 記録ファイルの再生 / 削除	20
10. PCでの再生	22
11. 各種設定	25
12. トラブルシューティング	28
13. 仕様	30

# 1. 同梱品の確認

本製品の箱を開封した際に、同梱物がすべて揃っていることを確認してください。

## ■ 標準品



本体



ブラケット



電源ケーブル



microSD カード (32GB)  
(本体に挿入済み)



取扱説明書



保証書

## ■ オプション品 (別売)



PDR007  
リアカメラ



PDR002  
常時接続ケーブル



PDR001  
電源ケーブル (追加購入用)

## 2. 本製品を使用する前に

本製品の正しいご使用のため、以下の記載をお読みください。

### ■ 本製品について

- ・本製品は、自動車の運転中に映像を録画します。
- ・本製品は、事件や道路事故を調査するときの参考のためにのみ使用します。
- ・本製品は、すべての出来事を録画することを保証するものではありません。
- ・本製品は、事故の証拠として裁判などで効力を保証するものではありません。
- ・本製品は、衝撃が小さすぎて衝撃センサーを有効にできないような衝撃の小さい事故、または自動車のバッテリー電圧が無効になってしまうような衝撃の大きい事故を正しく録画することができない場合があります。
- ・映像の録画は、本製品が完全にオンになる（起動が完了する）までは開始しません。すべての自動車事故を確実に記録するには、電源をオンにした後、本製品が完全に起動するまで待ってから自動車の運転をはじめてください。
- ・当社は、事故を原因とするいかなる損害に対する責任や事故の結果に対してサポートを提供する責任を一切負いません。
- ・リモートドアロック装置の設置、ECU の設定または TPMS の設定などの自動車の設定または運転の状況によっては、本製品の一部の機能がサポートしていない場合があります。また、ファームウェアのバージョンによっては、本製品の性能や機能に影響を与えることがあります。
- ・地デジなどテレビアンテナの近くや、電装品の近くには設置しないでください。テレビの受信感度の低下やチラツキ、ノイズの原因になる可能性があります。
- ・LED 信号機は、映像がちらついたり、点滅しているような映像が記録される場合があります。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

### ■ 取扱説明書について

- ・当社のサービスポリシーが更新される際に、取扱説明書の情報も変更される場合があります。
- ・このユーザーガイドは PIXYDA PDR750SV モデルのみを対象としており、技術的なエラー、編集のエラー、情報の欠落が含まれる可能性があります。

### ■ 著作権

このガイドの内容に対するすべての権利は当社によって留保され、著作権法のもと、保護されています。当社の書面による同意なしに、このガイドを無断で複製、改訂、出版、配布することは禁止されており、刑事訴訟の対象となります。

## ■ 本ガイドの安全に関する記号

- △ - 危険 - 回避しなければ、けがや死亡の恐れのある危険があることを指します。
- △ - 警告 - 回避しなければ、軽傷や物的損害が生ずる恐れのある危険があることを指します。
- 🔗 - 注意 - ユーザーが本製品の機能を活用するのに役立つ有益な情報を提供します。

## ■ 適切に使用するための安全性に関する情報

### 1. 運転と製品の操作

- △ - 危険 -
  - ・ 自動車を運転中に本製品を操作しないでください。運転中に注意力が散漫になると事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。
  - ・ 運転手の視野を妨げない場所に本製品を設置してください。運転手の視野を妨げることは事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。フロントガラスに本製品を取り付ける前に、法律や地方条例を確認してください。

### 2. 電源

- △ - 危険 -
  - ・ 濡れた手で電源ケーブルを操作したり、取り扱ったりしないでください。感電死の恐れがあります。
  - ・ 損傷した電源ケーブルを使用しないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。
  - ・ 電源ケーブルはあらゆる熱源から離しておいてください。電源ケーブルの断熱材が溶けて、電気火災や感電死につながる恐れがあります。
  - ・ 電源ケーブルと正しいコネクタを使用して、電源ケーブルを適切な場所にしっかりと接続してください。電気火災や感電死の恐れがあります。
  - ・ 電源ケーブルを改造したり、切断しないでください。また、電源ケーブルの上に重い物を置いたり、過度に力を入れて電源ケーブルを引っ張ったり、差し込んだり、曲げたりしないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。
- △ - 警告 -
  - ・ 電源ケーブルを本製品に接続するときは、ケーブルのプラグと本製品の電源ケーブルコネクタをしっかりと接続してください。接続がゆるいと、自動車の振動により電源ケーブルが外れることがあります。
  - ・ 本製品は電源ケーブルまたは常時接続ケーブルのみを使用してください。他の電源を使用すると、本製品に深刻な損傷を与える恐れがあります。

### 3. 子どもやペット

- △ - 警告 - 本製品をお子さまやペットの手の届かない場所に設置してください。本製品が破損した場合、致命的な損傷になる恐れがあります。

## ■ 本製品に関するその他の情報

- △ - 警告 -
- ・本製品は、-20° C ~ 65° C の温度で使用してください。指定温度の範囲外で使用した場合、本製品が設計通りに機能しなくなり、物理的損傷を受け続ける恐れがあります。こうした損傷は保証の範囲外です。
  - ・本製品の設置位置が適切かどうかを頻繁に確認してください。極端な道路状況によって生じた衝撃により設置位置がずれることがあります。本製品を本ガイドの通りの位置に設置してください。
  - ・本製品のボタンを押したりタッチパネルスクリーンに触れる際は、過度な力を加えないでください。ボタンやスクリーンが損傷する恐れがあります。
  - ・本製品の清掃に化学的な洗浄剤や溶剤を使用しないでください。本製品のプラスチック部品が損傷する恐れがあります。やわらかくてきれいな、乾燥した布材を使用して本製品を清掃してください。
  - ・本製品を分解したり、衝撃を与えたりしないでください。本製品が損傷する恐れがあります。許可なく本製品を分解した場合、本製品は保証の対象外になります。
  - ・お取り扱いにご注意ください。本製品を落としたり、誤った取り扱いをしたり、外的ショックを与えた場合、損傷または動作不良の恐れがあります。
  - ・本製品のスロット内に異物を入れないでください。
  - ・過度な湿度を避け、本製品に水が入らないようにしてください。湿度や水にさらされると、本製品内部の電子部品が故障する恐れがあります。
  - ・粉塵の多い状況では本製品を使用しないでください。カメラが正常に作動しない恐れがあります。

- ☒ - 注意 -
- ・車両のメーカーおよび車種によっては、エンジンが停止していても電力が本製品に供給され続ける場合があります。連続的に電力が供給されている 12V のバッテリーに本製品を取り付けた場合、車両のバッテリー消耗につながる場合があります。
  - ・本製品は自動車の運転中に映像を記録するように設計されています。映像の画質は昼夜、街灯の有無、トンネルへの出入り、および外気温などの気象および道路条件に影響されることがあります。
  - ・録画された映像が操作中に失われた場合には、当社は一切責任を負いません。
  - ・本製品は強い衝撃を伴う車の衝突に耐えられるように設計されていますが、事故により損傷した場合でも、当社は事故の録画を保証しません。
  - ・最適な画質を得るためフロントガラスとカメラレンズの汚れを落としてください。粒子や物質がカメラレンズやフロントガラスに付着していると録画された画像の質が悪くなる場合があります。
  - ・本製品は車内で使用することを目的としています。
  - ・LED 信号機は、映像がちらついたり、点滅しているような映像が記録される場合があります。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。
  - ・GPS 信号が受信できない環境、または GPS 設定をオフにした場合、PC ビューワーで記録された映像に軌跡の表示はされません。
  - ・トンネルや高層ビル街など GPS 信号が正しく受信できない場所がありますので、予めご了承ください。

# 3.microSD カードの取扱

次の手順で本製品からの microSD カードの取り外し、または本製品への microSD カードの挿入を行ってください。

**☑ - 注意 -** 記録されたファイルを消失しないように、別の記憶装置に定期的にバックアップしてください。

## ■ microSD カードを取り外す

本製品の電源がオフになっていることを確認します。

カチッという音が聞こえるまで microSD カードを押し込むと、メモリカードが飛び出します。  
カードを本製品から取り外してください。



**⚠ - 警告 -** microSD カードを取り外す前に、必ず本製品の電源をオフにしてください。本製品の電源がオンになっているときに microSD カードを取り外した場合、記録された映像のファイルが破損または消失することがあります。

## ■ microSD カードを挿入する

microSD カードのプリントラベル面が本製品の画面の方向になるように microSD カードを microSD カードスロットに挿入します。  
カチッという音が聞こえるまで microSD カードを押し込んでください。



**⚠ - 警告 -**

- ・ microSD カードを正しい向きにして、本製品に差し込んでください。microSD カードが正しく差し込まれていない場合、microSD カードスロットや microSD カードが損傷することがあります。
- ・ 当社が認定した microSD カードのみを使用してください。当社は、他社製品の microSD カードの互換性や通常動作を保証しません。
- ・ Class 10 以上の microSD カードを使用してください。Class 10 以下の microSD カードでは正常に作動しない場合があります。また、microSD カードが高温になり大変危険です。Class 10 以外は使用しないでください。

## ■ microSD カードのフォーマット

microSD カードを Format することで、カード内のすべての記録を消去することができます。microSD カードの Format については、「11. 各種設定」の「端末情報」を参照してください。

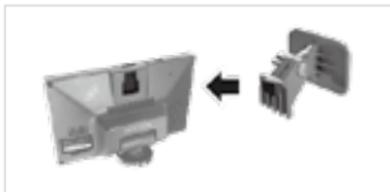
**☑ - 注意 -** イベントファイルがいっぱいになると、録画が出来なくなりますので、定期的に SD カードのフォーマットを行ってください。必要なファイルはフォーマットをする前にバックアップを取ってください。

## 4. 本製品の設置

次の手順で本製品を正しく設置してください。

### ■ ブラケットの取り付け

1. 本製品背面の凹部とブラケットの凸部を合せます。
2. ブラケットを上方にスライドしてカメラ本体に固定します。



### ■ 設置位置の選定

運転手の視界を妨げず、自動車の前部がすべて映像として記録できる設置位置を選んでください。

ルームミラーの左右にずらして設置した場合も、映像は全方位で記録されるため、死角の少ない映像を撮影することができます。



### ■ 本製品の固定

1. 設置位置を決めたら、乾いた布でフロントガラスの設置位置を拭きます。
2. ブラケットから保護フィルムをはがして、ブラケットを設置位置に押し付けます。  
※ 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
- ※ 粘着テープの貼り直しは粘着力が低下しますのでお避けください。
3. 画面の映像を確認しながら、本製品の角度を調整します。

△-警告- ブラケットにしっかりと固定されていない場合、本製品が運転中に落下したり損傷したりする可能性があります。

## ■ 電源ケーブルの接続

⚠ - 警告 - 車両への、リアカメラ（オプション）や常時接続ケーブル（オプション）の配線 / 取り付けは、必ず専門の熟練した技術者が行ってください

1. エンジンとアクセサリ電源がオフになっていることを確認してください。
2. 電源ケーブルを本製品の電源端子に接続します。
3. リアカメラ（オプション）を取り付けている場合は、リアカメラ接続ケーブルをリアカメラ入力端子に接続します。



⚠ - 危険 -

- ・ 電源ケーブルは必ず同梱品を使用してください。同梱品以外の電源ケーブルを使用した場合は本製品が損傷し、電圧差による電気火災や感電死の恐れがあります。
- ・ お客様自身で電源ケーブルを切断したり改造したりしないでください。本製品や自動車を損傷する恐れがあります。
- ・ 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害したりすることがないようにケーブルを配線してください。

常時接続ケーブル（オプション）を使用すると、継続して駐車監視モードやエコ監視モードを動作させることができます。

駐車監視モードやエコ監視モードについては、「8. 映像の記録」を参照してください。

📌 - 注意 - 常時接続ケーブルを接続して起動後に付属の電源ケーブルで接続をし直すと、電源オフメニューが 1 分後に必ず表示されてしまいます。常時接続ケーブルを接続して起動後に付属の電源ケーブルを使用する場合は、必ず本機の初期化（リセット）を行ってからご使用ください。

### 電源オフメニュー



# 5. 電源のオン / オフ

電源をオンにして、本製品の使用を開始します。

## ■ 電源をオンにする

電源ケーブルを本製品の電源端子および車両のシガーソケットに接続し、エンジンを始動するかアクセサリ電源をオンにすると、本製品の電源が自動的にオンになります。

手動操作で電源をオフにしているときは、電源ボタンを約 3 秒間押したままにすると、電源がオンになります。

電源がオンのときは、電源ボタンの LED ランプが以下のように点灯します。

【録画中：赤色に点灯】

【録画停止：青色に点灯】



**注意** - 電源をオンにしてからシステムが起動するまで約 25 秒かかります。運転を開始する際はご注意ください。また GPS の受信はお使いの環境や時間帯により変化するため、受信状態をご確認ください。

## ■ 電源をオフにする

### 手動操作

電源ボタンを約 8 秒間押したままにすると、電源がオフになります。

### 電源オフメニューからの操作

1. 本製品の電源がオンのときにエンジンを停止するか、電源ボタンを長押しして 7 秒以内に放すと、画面に電源オフメニューが表示されます。
2. "電源オフ" にタッチすると電源がオフになります。

電源オフメニューが表示されてから約 10 秒間操作をしないと、赤色に表示されている操作が実行されます。

"取消し" にタッチするとメニューが消え、約 1 分後に再度表示されます。



## ■ 画面を非表示にする

画面が表示されているときに電源ボタンを短押しすると、画面が非表示になります。再度、電源ボタンを押すかスクリーンにタッチすると、画面が表示されます。

**注意** - 録画中に画面を非表示にしたときも、録画は継続されます。

# 6. タッチパネルスクリーン

本製品は、画面にタッチすることで操作可能なタッチパネルスクリーンを備えています。映像が表示されているときに画面にタッチすると、約 10 秒間メニューリストが表示されます。本製品の操作はメニューリストから行います。

## ■ スクリーンの表示内容（録画停止中）

番号	説明
①	動画の撮影を開始します。
②	表示されている画面の静止画を撮影します。
③	記録ファイルの再生メニューを開きます。
④	設定メニューを開きます。
⑤	画面の表示モードメニューを開きます。
⑥	現在の時刻が表示されます。
⑦	GPS の受信状態が表示されます。表示内容については、「11. 各種設定」の「端末情報」を参照してください。



## ■ スクリーンの表示内容（録画中）

番号	説明
①	アイコンが赤く点灯し、1 ファイルあたりの録画時間が数字で示されます。録画中にタッチすると、録画が停止します。
②	表示されている画面の静止画を撮影します。
③	タッチすると赤く点灯し、タッチする 10 秒前を起点とする 22 秒間の映像がロックファイル（自動で上書きされないファイル）として保存されます。
④	画面の表示モードメニューを開きます。
⑤	録画中は "REC ●" が点滅します。



# 7. 映像の表示モード

本製品は、垂直に 220°、水平に 360° 視野までの全方位撮影が可能です。  
死角の少ない映像を撮影し、表示中の画面や記録したファイルを様々なアングルから確認することができます。

## ■ 表示モード

撮影した動画 / 静止画ファイルや表示中の画面は、以下の 4 種類の表示モードがあります。

モード	画面表示
<b>フロントワイド：</b> カメラを車外に向けて広角に撮影します。	
<b>360° EYE：</b> カメラを下向きにして全方位を円形に撮影します。	
<b>フロント&amp;カウルム：</b> 全方位の撮影範囲を、前後に 2 分割して表示します。	
<b>マルチウィンドウ：</b> 全方位の撮影範囲を、前後左右に 4 分割して表示します。	

## ■ 表示モードを切り替える

録画中や録画停止中、記録ファイルの再生中に、表示モードを切り替えることができます。

1. スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンにタッチします。
2. 切り替える表示モードにタッチします。

## ■ 表示中の画面の操作

### 画面の回転

フロントワイド以外のモードでは、タッチパネルをスワイプして画面表示を回転させることができます。

### 全画面表示

フロント & カールームおよびマルチウィンドウでは、画面を素早く 2 回タッチすると、タッチしたアングルが全画面で表示されます。再度素早く 2 回タッチすると、元の画面に戻ります。

## ■ リアカメラの表示 (オプション)

オプションのリアカメラを取り付けると、車両後方の映像を本製品の画面に表示することができます。

画面に映像が表示されているときに、画面右側の小ウィンドウにリアカメラの映像が表示されます。

小ウィンドウにタッチすると、リアカメラの映像が全画面になります。



-  **注意** ・ギアをリバースに入れてバックランプが点灯すると、リアカメラの映像が全画面表示になります。また、車両周囲の距離感を把握するガイドが表示されます。ガイドが示す距離等については、設置作業員におたずねください。
- ・本体のシステム設定によりバック運動をオフにすることが可能です。(詳しくは「11. 各種設定」をご確認ください。)
  - ・リアカメラの映像は、表示モードの変更や画面表示の回転はできません。

# 8. 映像の記録

## ■ 撮影データのファイル構成

本製品で撮影された動画 / 静止画データは、microSD カードに保存されます。動画データは、設定した時間ごとに分割されたファイルとして保存され、microSD カードの容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。時間の設定については、「11. 各種設定」を参照してください。

 **注意** - 衝撃検知モードで撮影された映像やファイルロックモードで撮影した映像はロックファイルとして保存され、自動で上書きされません。そのため、ロックファイルが増えると、通常の録画で保存できるファイルの容量が減少します。必要に応じてロックファイルを削除してください。ファイルの削除については、「9. 記録ファイルの再生 / 削除」を参照してください。

## ■ 動画撮影の開始

### 自動撮影

自動録画モードがオンのときは、本製品の電源をオンにしてシステムが起動すると、自動的に録画が開始されます。

画面の左上に "REC ●" が点滅します。

自動録画モードのオン / オフについては、「11. 各種設定」を参照してください。

### 手動撮影

スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンにタッチして撮影を開始します。

 アイコンが赤い表示に切り替わり、画面の左上に "REC ●" が点滅します。

 **注意** - 動画の撮影中は、電源ボタンの LED ランプが赤色に点灯します。

## ■ 動画撮影の停止

スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンにタッチします。撮影が停止し、画面左上の "REC ●" が消えます。

 **注意** -  アイコンに表示される数字は、設定した 1 ファイルあたりの記録時間によって異なります。記録時間の設定については、「11. 各種設定」を参照してください。  
・撮影の停止中は、電源ボタンの LED ランプが青色に点灯します。

## ■ 静止画の撮影

スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、アイコンにタッチします。表示中の映像が静止画で撮影されます。録画中 / 録画停止中に関わらず撮影できます。

## 連続撮影

一度のプッシュで5枚または10枚の連続写真を撮影できます。連続撮影の設定については、「11. 各種設定」の「保存設定」を参照してください。

## ■ ファイルロックモード

撮影した動画ファイルにロックをかけて、自動で上書きされないロックファイルとして保存できます。ロックファイルは、ファイルロックモードにする10秒前を起点とする22秒間の映像として保存されます。ファイルロックモードは、約12秒後に通常の録画モードに戻ります。

## ファイルロックモードで撮影する

録画中にスクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、アイコンにタッチします。アイコンが赤色の表示に切り替わり、ファイルロックモードになります。また、画面左上に「SOS ●」が約12秒間点灯します。



## ■ 衝撃検知モード

映像を録画中に車両への衝撃を検知すると衝撃検知モードが作動し、録画中のファイルとは別に、検知する10秒前を起点とする22秒間の映像をロックファイルとして記録します。衝撃検知モードは約12秒間作動し、この間画面左上に「SOS ●」が点灯します。作動終了後は、通常の録画モードに戻ります。

## ■ 駐車監視モード

駐車監視モードは、エンジンを停止して画面が消えた後もカメラが作動して周囲の撮影を続け、衝撃を検知したときは、検知してから 22 秒間の映像をロックファイルとして保存します。

☞ **注意** - 駐車監視モードのご使用は、別売の「常時接続ケーブル (PD002)」の取付けが必要です。

### 駐車監視モードを作動させる

1. 本製品の電源がオンのときにエンジンを停止すると、画面に電源オフメニューが表示されます。
2. 「駐車監視」にタッチすると、画面の表示が消え、約 1 分 30 秒後に駐車監視モードが作動して撮影を開始します。
3. 駐車監視モードの作動中に衝撃を検知すると、検知後の 22 秒間の映像をロックファイルとして保存し、その後駐車監視モードに戻ります。



☞ **注意** -

- ・検知する前の映像はロックファイルとして保存されません。
- ・衝撃を検知してロックファイルの録画を開始したときは、電源ボタンの LED ランプが赤色に点灯し、録画が停止すると消灯します。
- ・駐車監視モードが作動すると、「ティーン」という機械音がします。音声設定で消音にしているときは、この機械音は聞こえません。音声設定については、「11. 各種設定」を参照してください。

### 駐車監視モードからの復帰

エンジンを始動すると、通常の録画モードに戻ります。

☞ **注意** -

- ・自動録画モードをオフにしているときも、駐車監視モードから復帰したときは自動で録画が開始されます。
- ・自動録画モードについては、「11. 各種設定」を参照してください。
- ・駐車監視中にバッテリー電圧が 12.0V 以下 (12V 車) に下がった場合は、バッテリー上がり防止の保護機能が動き駐車監視を終了します。  
※車を始動して  
起動する際には【PIXYDA】画面から始まります。
- ・24V 車のバッテリー保護は 23.6V 以下で駐車監視を終了します。

## ■ エコ監視モード

エコ監視モードでは、エンジンを停止して画面が消えた後、一定間隔ごとにカメラが周囲の静止画を撮影し、これをつなぎ合わせた動画として保存します。

監視中に衝撃を検知したときは、検知後の 22 秒間の映像をロックファイルとして保存します。

エンジン停止後の撮影をエコ監視モードで行なうことにより、車両のバッテリーの消費電力や microSD カードのデータ使用量を節約したり、保存した映像の確認を短時間で済ませることができます。

- ☑・注意・
- ・ **エコ監視モードのご使用は、別売の「常時接続ケーブル (PDR002)」の取付けが必要です。**
  - ・ つなぎ合わせる静止画の撮影間隔は、「1 秒」「3 秒」「6 秒」から選択できます。「11. 各種設定」の「保存設定」を参照してください。

## エコ監視モードを作動させる

1. 本製品の電源がオンのときにエンジンを停止すると、画面に電源オフメニューが表示されます。
2. "エコ監視" にタッチすると、画面の表示が消え、約 1 分 30 秒後にエコ監視モードが作動します。
3. エコ監視モードの作動中に衝撃を検知すると、検知後の 22 秒間の映像をロックファイルとして保存し、その後エコ監視モードに戻ります。



- ☑・注意・
- ・ エコ監視モードでは、衝撃を検知する前の映像はロックファイルとして保存されません。
  - ・ エコ監視モードでは、音声の録音はされません。
  - ・ 衝撃を検知してロックファイルの録画を開始したときは、電源ボタンの LED ランプが赤色に点灯し、録画が停止すると消灯します。
  - ・ エコ監視モード中に衝撃を検知すると、「ティーン」という機械音がかかります。音量設定で消音にしているときは、この機械音は聞こえません。音量設定については、「11. 各種設定」を参照してください。

## エコ監視モードからの復帰

エンジンを始動すると、通常の録画モードに戻ります。

- ☑・注意・
- ・ 自動録画モードをオフにしているときも、エコ監視モードから復帰したときは自動で録画が開始されます。
  - ・ 自動録画モードについては、「11. 各種設定」を参照してください。
  - ・ エコ監視中にバッテリー電圧が 12.0V 以下 (12V 車) に下がった場合は、バッテリー上がり防止の保護機能が働きエコ監視を終了します。  
※車を始動して起動する際には【PIXYDA】画面から始まります。
  - ・ 24V 車のバッテリー保護は 23.6V 以下でエコ監視を終了します。

# 9. 記録ファイルの再生 / 削除

記録したファイルを画面上で確認できます。

## ■ 映像の選択

1. スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、アイコンにタッチします。  
ファイル管理画面が表示されます。
2. ファイル区分を選択します。

		
フロントカメラ（本製品） で撮影した動画	リアカメラ（オプション） で撮影した動画	フロントカメラ（本製品） で撮影した静止画

3. 表示したいファイルにタッチします。

-  **注意**・ 上書きされないロックファイルで保存されたファイルは、右下に  アイコンが表示され、ファイル名の末尾が「\_SOS.mp4」になります。
- ・ エコ監視モードで保存されたファイルは、右下に  アイコンが表示されます。
  - ・ エコ監視モードおよびリアカメラの映像を保存したファイルは、ファイル名の末尾が「\_cctv.mp4」になります。

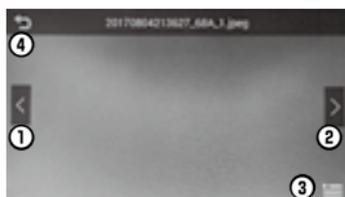
## ■ 動画再生画面

番号	説明
①	次の動画を再生
②	再生の一時停止 / 再生
③	前の動画を再生
④	画面表示モードメニューの表示
⑤	前の画面に戻る



## ■ 静止画表示画面

番号	説明
①	次の画像を表示
②	前の画像を表示
③	画面表示モードメニューの表示
④	前の画面に戻る



## ■ 動画 / 静止画の削除

ファイル管理画面で、削除したいファイルを約 1 秒間タッチすると、削除メニューが表示されます。

番号	説明
①	すべてのファイルを選択
②	選択しているファイル数
③	削除の決定
④	閉じる



削除したいファイルにタッチしてチェックマークを表示させ、"削除"にタッチします。

# 10.PCでの再生

専用のビューワーを使用して、録画した映像を PC 上で様々なアングルで再生できます。

## ■ 保存データのフォルダ構成

撮影したデータは、microSD カードの「video」フォルダ内の以下のフォルダに保存されます。

フォルダ名	内容
.thumbnail	フォルダ管理画面に表示されるサムネイル画像が保存されます。
A	フロントカメラで撮影した通常録画およびパーキングモードでの映像や、エコ監視モードでの動画が保存されます。
B	オプション品のリアカメラで撮影した映像が保存されます。
G	通常は表示されないデータが保存されます。
pic	撮影した静止画が保存されます。
sos	ロックファイルとして撮影した映像が保存されます。

## ■ PCビューワーのシステム要件

PC ビューワーを実行するためのシステム要件は以下の通りです。

- ・プロセッサ：Intel Core i5 以降
- ・メモリー：4GB 以上
- ・オペレーティングシステム：Windows 7 以降（64 ビット推奨）
- ・その他：DirectX 9.0 以降 /Microsoft Explorer のバージョン 7.0 以降

☑ -注意- このシステム要件に記されている以外のオペレーティングシステムを実行しているパソコンでは、PC ビューワーが正しく機能しません。ビジネスモデルのノートブックなどで、グラフィックボードのスペックが低いパソコンでは上記の要件が満たされていても動作が行えない場合がございます。

## ■ PCビューワーのインストール

PC ビューワーのインストールファイル（VeSee\_Go\_setup.exe）は、本製品と一緒に付属されている microSD カードのルートフォルダに保存されています。手順に従って、PC ビューワーをパソコンにインストールしてください。

1. アダプターを使用して、PC に microSD カードを挿入します。
2. インストールファイル「VeSee\_Go\_setup.exe」を起動し、インストール手順に従ってインストールを行います。インストールが完了すると、PC 内に「VeseeGo」フォルダが作成されます。
3. アプリケーション「VeSeeGo.exe」を開いて、PC ビューワーを表示します。

※最新の PC ビューワーは下記のアドレスからダウンロードできます。

<http://www.seiwa-c.co.jp/pixyda/pdr750sv/>

## インストール手順

①



②



③



④



⑤



⑥



## ■ PCビューワーの表示内容



番号	説明
①	録画した映像が表示されます。
②	映像が撮影されたときの車両位置が地図上に表示されます。
③	映像が撮影されたときの走行速度が表示されます。
④	映像が撮影されたときにセンサーが検知した振動が波形グラフで表示されます。
⑤	プレイリストを表示 / 非表示します。
⑥	前後の動画への移動や、再生 / 一時停止 / 停止を行ないます。
⑦	画面の表示を、撮影したカメラの向きに切り換えます。
⑧	撮影範囲を前後に 2 分割した画面で表示します。
⑨	撮影範囲を前後左右に 4 分割した画面で表示します。
⑩	映像を単一画面に表示します。
⑪	画角を変更します。
⑫	音量を調整します。
⑬	再生するファイルを選択して開きます。
⑭	画質を変換します。
⑮	全画面表示 / 標準表示を切り換えます。

- ☞ **注意** ・ GPS 信号が受信できない環境、または GPS 設定をオフにした場合、PCビューワーで記録された映像に軌跡の表示はされません。  
 ・ 地図表示は Google マップを使用しているためインターネットへの接続環境が必要で  
 ・ トンネルや高層ビル街など GPS 信号が正しく受信できない場所がありますので、予めご了承ください。  
 ・ PCビューアーに記録された車速は参考値となります。走行中は必ず速度表示に従い、安全運転を行ってください。

# 11. 各種設定

本製品の各種設定を行ないます。

## ■ 設定メニュー

1. スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、**設定**アイコンにタッチします。  
設定メニューが表示されます。
2. サブメニュー"保存設定"、"システム設定"または"端末情報"にタッチして、設定したい項目を表示します。



## 保存設定

以下の内容を設定できます。



①常時録画	通常の録画時に保存される1ファイルあたりの記録時間を、"1分" "2分" "5分" から選択できます。
②振動検知	衝撃検知モードが作動する感度を設定できます。 ロー：低感度です。(強い衝撃で作動) ミドル：通常の検知感度で作動します。 ハイ：高感度です。(弱い衝撃で作動)
③自動録画	本製品の電源をオンにしたときに、自動で録画が開始されるモードのオン/オフを選択できます。

※駐車監視・エコ監視から復帰した際は、自動録画がオフでも録画がスタートします。

④エコ監視	エコ監視モードで保存される動画のベースとなる静止画の撮影間隔を、"1秒""3秒""6秒"から選択できます。
⑤連続撮影	"5枚"または"10枚"を選択すると、静止画の連続撮影ができます。
⑥音声記録	録画時の音声記録をオン/オフから選択できます。
⑦ミラー鏡像	正転→進行方向を視認した画像が保存されます。 反転→ミラーで後ろを視認した画像が保存されます。
⑧エコ監視 時間上限	エコ監視モードで保存される時間を、12時間、24時間、制限なし(オフ)から選べます。 ※(オフ)を選んだ場合、バッテリー電圧が12.0V以下(12V車)に下がった場合は、バッテリー上がり防止の保護機能が働きエコ監視を終了します。その際に車を始動して起動する際には【PIXYDA】画面から始まります。 24V車のバッテリー保護は23.6V以下でエコ監視を終了します。

## システム設定

以下の内容を設定できます。

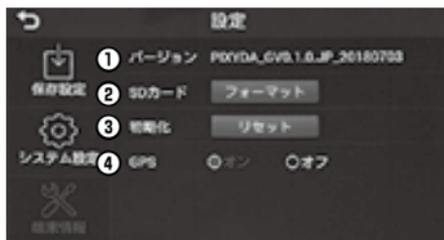


①言語設定	表示言語を、日本語・英語から選択できます。
②音量設定	音量バーをスライドして、録画時の音量および本製品の作動音を設定できます。 スピーカーアイコンにタッチすると消音できます。
③時間設定	日付または時刻にタッチして設定を行ないます。 「端末情報」の「GPS」をオフにしているときに設定できます。
④照度切替	昼間/夜間の画面照度を、⑤照度設定のバーで調節します。 自動を選択したときは、以下ようになります。 ・8:00～16:59は、「昼間」で設定した照度になります。 ・17:00～7:59は、「夜間」で設定した照度になります。 ※設定された時間は変更できません。

⑤照度設定	バーをスライドして画面明るさを調節します。
⑥バック連動	車両のギアをリバースに入れたときに、自動的にオプションのリアカメラの映像が全画面表示されます。また、同時に車両周辺の距離感を把握するガイドが表示されます。この全画面の切替えをオン/オフから選択できます。

## 端末情報

以下の内容を設定できます。



①バージョン	本製品のバージョン情報が表示されます。		
② SD カード	microSD カードに記録されたファイルを、ロックファイルを含めてすべて削除します。		
③初期化	本製品を工場出荷時の設定に初期化します。		
④ GPS	GPS 情報の受信をオン/オフから選択できます。オンを選択したときは、GPS の受信状態が以下のように表示されます。		
	GPS 受信済み 	GPS 受信中  (点滅)	GPS 受信不可  (点灯)

# 12. トラブルシューティング

以下の表には、本製品をご使用の際に発生する可能性のある問題とその対策が示されています。

症状が改善されない場合や、下記以外のトラブルが発生した場合には本誌裏面に記載のセイクお客様サポートセンターまでお問い合わせください。

問題	原因と対応
・本製品の電源が入らない ・エンジンを停止したとき、または本製品が作動しているとき、すぐに電源がオフになってしまう	・シガープラグとケーブルの断線などが無いかを確認してください。 ・本製品の電源端子が外れていませんか？接続を確認してください。 ・同梱の電源ケーブル以外を使用すると本体が不安定になるので使用しないでください。 ・オプション品の常時接続ケーブルが正しく接続されていないと、駐車監視モードやエコ監視モードが正常に起動できません。接続を確認してください。
異常動作	システムエラーの可能性があります。リセットボタンを短押しし、本製品を再起動してください。
記録された動画、静止画が表示されない、または壊れている	microSD カードが破損している可能性があります。新しい microSD カードに差し替えてください。 上書き回数が数千回を超えると、記録できなくなる場合があります。
記録が出来ない	microSD カードが挿入されているか確認してください。
ファイルの読み込みがとて遅い	付属の microSD カードと同等のスペック (Class 10) の SD カードをご使用ください。
再生の際、音が出ない	音量設定の音量が小さくなっていないか、または消音になっていないかを確認してください。
常時録画ができない	ロックされたファイルが溜まってしまい、常時録画を保存する容量が不足している可能性があります。不必要なファイルを削除してください。
microSD カードの容量が、すぐにいっぱいになってしまう	振動検知の感度が強すぎると、ちょっとした振動でファイルがロックされてしまう場合があります。そうすると、ロックされたファイルが溜まってしまい、容量が足りなくなってしまうます。設定メニューの振動検知の感度を調整してみてください。
タッチパネルが操作できない	システムエラーの可能性があります。リセットボタンを短押しし、本製品を再起動してください。
液晶画面が表示しない	画面が非表示になっていませんか？画面をタッチするか、電源ボタンを短押ししてみてください。
電源オフメニューが1分後に必ず表示される	常時接続ケーブルを接続して起動後に付属の電源ケーブルを使用する場合は、必ず本機の初期化 (リセット) を行ってからご使用ください。

問題	原因と対応
ビューワーソフトが PC にインストールできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスモデルのノートブックなどで、グラフィックボードのスペックが低いパソコンでは要件が満たされていても動作が行えない場合がございます。</li> <li>・PC のバージョンアップ等により、microSD 内の VeSee_Go_setup.exe ソフトが対応できていない可能性がございます、最新の PC ビューワーを下記のアドレスからダウンロードして試してみてください。 <a href="http://www.seiwa-c.co.jp/pixyda/pdr750sv/">http://www.seiwa-c.co.jp/pixyda/pdr750sv/</a></li> </ul>
ビューワーソフトに地図が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の表示には Google マップを使用しているためインターネットへの接続環境が必要です。</li> <li>・GPS 信号が受信できない環境、または GPS 設定をオフにした場合、PC ビューワーで記録された映像に軌跡の表示はされません。</li> </ul>
ビューワーソフトの地図がずれている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google マップの変更等により地図の軌跡表示位置がずれる場合があります。その際は最新の PC ビューワーを下記のアドレスからダウンロードして再度試してください。 <a href="http://www.seiwa-c.co.jp/pixyda/pdr750sv/">http://www.seiwa-c.co.jp/pixyda/pdr750sv/</a></li> </ul>
画面に触れていないのに勝手に画面がスクロールする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多極プラグから電源を取っていませんか？電源ノイズにより静電タッチパネルが誤動作することがございます。本体のリセットを行い、お車の電線ソケットに直接接続を行い、再度確認をお願い致します。</li> </ul>

※ Google マップは、Google LLC の商標または登録商標です。

# 13.仕様

本製品の仕様については、次の表を参照してください。

項目	仕様	
品番/モデル名	PDR750SV/ 360EYEドライブレコーダーG	
記録媒体	microSD/SDHCカード* (8G~32GB) 32GB Class10 同梱	
カメラ	映像素子	CMOSセンサー：1/3型
	視野角（レンズ画角）	水平360° /垂直220° （カメラを下向きにした場合）
記録解像度	動画	1440×1440（約200万画素）
	静止画	約300万画素
	有効画素数	約300万画素
録画ファイル構成	1分/2分/5分単位切り替え可能	
最低被写体照度	約1ルクス	
画面サイズ	5.0インチタッチパネル液晶	
マイク	高感度マイク内蔵	
フレームレート	24fps	
スピーカー	1W/8Ω 1個	
音声設定	設定可能	
GPS	搭載	
記録モード	常時録画	エンジン連動で自動的に記録を開始/終了 ON/OFF選択可能
	G（加速度）センサー記録	衝撃検知センサー感度 ロー/ミドル/ハイ3段階選択可能
	ワンタッチ記録	静止画撮影
	駐車監視モード	Gセンサー連動録画
	エコ監視モード	録画短縮再生 1秒/3秒/6秒で1コマを保存 ※駐車監視/エコ監視モードのご使用には、別売の「常時接続ケーブル」が必要です。
ファイル形式	動画：H.264	
	静止画：JPEG	
映像外部出力	なし	
映像外部入力	専用リアカメラ入力（Φ2.5ミニジャック） ※別売の「リアカメラ」が必要です。	
記録映像再生方法	PC再生専用ビューワソフト（Windows7/8/10）	

項目	仕様	
再生画像分割表示	フロント1画面/前後2画面/前後左右4画面/+リアカメラ画像（オプション）	
電源	電源ケーブル	電源ケーブル（約3.5m）同梱 ヒューズ容量：3A 常時接続ケーブル（オプション）
	対応車種	DC12V/24V
寸法	132（W）×84（H）×41（D）mm（突起部除く）	
重量	約154g（カメラ本体）	
動作温度範囲	-20℃～+65℃	

本製品に関するお問い合わせは… ☎ 0570-039-710

受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)

〒399-4603 長野県上伊那郡箕輪町三日町655

株式会社  <http://www.seiwa-c.co.jp>

〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地